

BIFURCATED NEEDLE

manufactured by
ALO

バイファケイテッド ニードル

欧米で標準化された皮膚テスト用針

監修：独立行政法人国立病院機構 相模原病院 臨床研究センター アレルギー性疾患研究部長 海老澤元宏先生

先端拡大

ステンレス製
stainless steel

左右非対称の刃先
asymmetrical blades

実物大



バイファケイテッドニードルの使い方



届出番号 13B2X10072000011

製造販売元

株式会社東京エム・アイ商会

〒104-0033 東京都中央区新川 1-5-13 TEL:03-3551-7873 FAX:03-3551-7318 info@tokyo-mi.jp

TMI

BIFURCATED NEEDLE

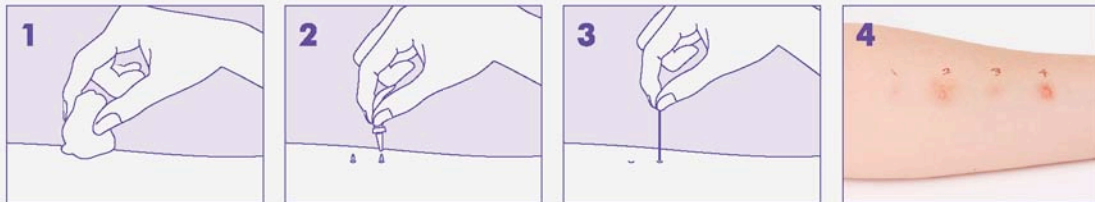
バイファケイテッド ニードル



特長

バイファケイテッドニードルは、欧米で標準化された皮膚プリックテスト用の専用針です。従来の自家製プリックテスト針と比べて、痛みが殆どなく、感度・特異性一致率が高く、皮膚プリックテスト (skin prick test=SPT)の診断に大変効果的な針です。

使用方法



①腕屈側面(あるいは背中)をアルコール綿にて消毒し乾燥させる。

②抗原液の判別がつくように2cm間隔でマーキングをし、抗原液を1滴ずつ滴下する。

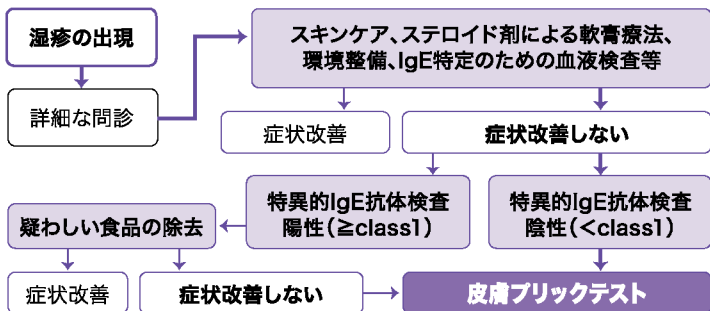
③滅菌したバイファケイテッドニードルを、抗原液を通して皮膚に直角に軽く圧迫する。余分な抗原液はガーゼなどで、皮膚面をこすらないように吸い取る。

④検査方法に従い、15~20分後に判定します。

判定方法

日本人乳児を対象とした、バイファケイテッドニードルを用いた皮膚プリックテストの陽性判定基準として、**膨疹径2mm以上かつ、または紅斑径5mm以上**が妥当と考えられています。バイファケイテッドニードルでは、陰性コントロールに膨疹がほとんど見られず、判定が容易にできます。

乳児期における食物アレルギーの診断方法



卵白特異的IgE-CAPRAST陰性でのSPTの有用性についての検討

	Egg white allergy		Total
	(+)	(-)	
SPT (+)*	39	1	40
SPT (-)	33	16	49
Total	72	17	89
Sensitivity	54.2%	PPV	97.5%
Specificity	94.1%	NPV	32.6%

*SPT(+) = wheal size \geq 2mm and/or erythema size \geq 5mm
 PPV = Positive predictive value
 NPV = Negative predictive value

乳児の中には、初診時卵白IgE-CAPRAST陰性と診断されたにも関わらず、食物アレルギー (food allergy = FA) と診断される症例が存在し、その際の検査方法として、バイファケイテッドニードルでの皮膚プリックテストが有効とされています。また、従来の判定基準に加え、**乳児の鶏卵アレルギーに対する判定基準では、膨疹2mm以上かつ、紅斑5mm以上**という新しい陽性基準も出ています。新しい陽性基準を用いた判定では、特異度94.1%、感度54.2%という判定結果となり、これまで多く用いられている陽性基準 (膨疹3mm以上) では、陽性的中率と特異度は、100%となりましたが、感度が33%と低く偽陰性が多くなるという結果が出ています。乳児アトピー性皮膚炎に関する鶏卵アレルギーの検索手段として、バイファケイテッドニードルを用いた皮膚プリックテストは、IgE-CAPRASTより優っており先行して施行することで、偽陰性の判定を減少させることができます。

参考文献: 緒方美佳、宿谷明紀、杉崎千鶴子、池松かおり、今井孝成、田知本寛、海老澤元宏、

『乳児アトピー性皮膚炎におけるBifurcated Needleを用いた皮膚プリックテストの食物アレルギーの診断における有用性(第1報) - 鶏卵アレルギー -』アレルギー57(7);2008;843-852.

【使用上の注意】

○バイファケイテッドニードルは、未滅菌です。ご使用の際は必ず滅菌してください。
 ○製品の特性上、一度使用した本製品の再使用はしないでください。
 ○皮膚に圧迫する際には、ねじったり、ひっかいたり、または出血させないでください。非特異的反応が強くなってしまい、診断の信頼性が落ちます。

販売店

1ケース 50本入 定価¥5,250(税込)

※本カタログの仕様・内容は、改良その他の理由により予告なく変更することがあります。